

2008年9月1日〔月〕～9月30日〔火〕会期中無休

開館時間:午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで/最終日は午後2時閉場)

[入場料]一般1,000円(4枚セット券3,000円)、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料

片岡球子は1905(明治38)年北海道札幌市の富裕な商家に生まれました。地元札幌の高等女学校師範科に在学中に画家になることを決意し、卒業後単身上京して女子美術専門学校(現女子美術大学)を卒業しました。その後は小学校教員を続けながらの画家修業となりますが、初入選後は展覧会に落選を重ね、苦しい状況が続きました。ゲテモノとまで言われながらも自分のスタイルを崩すことのなかった片岡がようやく院展本展に入選して会友に推されたのは7年目、院展同人となったのは実に22年目のことでした。

人物描写に関心を寄せる片岡は医師、僧侶、行者など独特の個性を持った人間を描きましたが、歌舞伎役者の描写を経て、終生の画題となった「面構」のシリーズに至ります。

「面構」は歴史上の大人物を現代によみがえらせるという試みでしたが、中でも浮世絵師を描く作品は、同じ画家として彼らの生き様と画業に対するオマージュともいえるものでした。

また同時期に開始された火山の連作は富士の連作へとつながり、抽象、具象の境界を超えた大地のエネルギー表現として、片岡芸術の一方の集大成となる連作となりました。

今回は院展出品作の「面構」シリーズを中心に、富士を描いた連作を配し、他の作品とともに片岡芸術の広がりをお楽しみいただきます。

TAMAKO KATAOKA



面構(雪舟)



面構(歌川広重)



面構(北斎と富士)



片岡球子 略年譜

- 1905(明治38)年 北海道札幌市に生まれる。
- 1923(大正12)年 女子美術専門学校(現女子美術大学)日本画科高等科入学。
- 1926(大正15)年 同校卒業。神奈川県横浜市大岡尋常高等小学校教諭に就任。
- 1930(昭和5)年 日本美術院再興第17回展に初入選。その後落選が続く。
- 1946(昭和21)年 安田靫彦に入門。第31回院展日本美術院賞受賞。第33回、35回、36回、37回も同賞受賞。
- 1952(昭和27)年 院展同人となる。
- 1955(昭和30)年 女子美術大学日本画科専任講師に就任。その後助教授、教授に就任。
- 1961(昭和36)年 第11回芸術選奨文部大臣賞を受賞。第46回院展文部大臣賞を受賞。
- 1966(昭和41)年 愛知県立芸術大学が発足し初代日本画科主任教授に就任。
このころから「富士山」及び「面構」シリーズを制作開始。
第31回日本芸術院賞恩賜賞受賞。
- 1975(昭和50)年 勲三等瑞宝章受章。
- 1976(昭和51)年 第27回神奈川文化賞受賞。
- 1978(昭和53)年 文化功労者に叙せられる。
- 1986(昭和61)年 文化功労者に叙せられる。
- 1989(平成元年) 第42回中日文化賞受賞。文化勲章受章。
- 1993(平成5)年 「法隆寺金堂壁画模写」全32面が完成、一般公開。これは愛知県立芸術大学教官・卒業生の20年間の労作。
- 2008(平成20)年 1月16日、急性心不全のため103歳で死去。叙従三位。

paramitamuseum
財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail:office@paramitamuseum.com

MAPCODE
566359095

片岡球子展

「面構」と「富士」